



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年8月7日

上場会社名 株式会社マツオカコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 3611 URL <https://www.matuoka.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 松岡典之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 金子浩幸 (TEL) 084-973-5188
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	16,956	11.7	206	—	765	△46.2	337	△56.8
2025年3月期第1四半期	15,175	12.1	△190	—	1,423	15.9	780	28.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △1,759百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 1,904百万円(37.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	32.30	29.90
2025年3月期第1四半期	78.14	67.10

(注) 第1回無担保転換社債型新株予約権付社債(発行残高7億50百万円)には希薄化を可能な限り抑制することを目的として取得条項(現金決済条項)が設定されているものの、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は株式に転換される可能性がある最大の株式数で計算しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	69,686	38,083	50.1
2025年3月期	72,453	40,529	51.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 34,902百万円 2025年3月期 37,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	90.00	90.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	4.8	2,500	476.2	4,700	11.9	3,000	15.4	287.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期1Q	10,532,600株	2025年3月期	10,532,600株
2026年3月期1Q	95,162株	2025年3月期	95,162株
2026年3月期1Q	10,437,438株	2025年3月期1Q	9,991,847株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ・中東地域における地政学的リスクの長期化、米国の通商政策の影響、中国経済の停滞、資源価格の高止まりなど、複合的な要因により先行き不透明な状況が継続しました。

わが国経済においては、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復を背景に、緩やかな回復基調を維持しております。円安や物価上昇、人手不足による賃金上昇などの影響はあるものの、個人消費は底堅く推移しており、アパレル業界においても季節需要やインバウンド消費の回復を背景に、事業環境は概ね順調に推移しました。

このような経済環境の下、当社グループでは堅調な受注状況を背景に、ベトナム・バングラデシュを中心とした新工場における生産キャパシティの拡大を図ってまいりました。引き続き中国からASEAN諸国等への生産地シフトを推進し、グループ全体の事業活動において、安定した生産体制の構築に努めております。

一方で、本業については概ね想定通り堅調に推移したものの、為替変動の影響により当第1四半期連結累計期間においては現預金や貸付金、借入金の換算替えから為替差損が発生したことにより、利益面では前年同期比で減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は169億56百万円（前年同期比11.7%増）、営業利益は2億6百万円（前年同期は営業損失1億90百万円）、経常利益は7億65百万円（同46.2%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億37百万円（同56.8%減）となりました。

また、当社グループの本業における実力値を判断するために算出した、当社の独自指標である為替差損益調整後営業利益は、10億85百万円（前年同期比17.9%増）となりました。

当社グループの収支構造は、為替変動によって海外子会社損益計算書の製造原価及び販管費の円換算額が変動します。また、一方で取引先との個別契約等による為替変動リスクヘッジの効果は、日常的な営業取引決済等から発生する為替差損益として、損益計算書において営業外損益に計上されます。これらの為替差損益は当社の営業取引（本業）から生じると考え、営業取引から発生した為替差損益を調整した事業損益を算定し「為替差損益調整後営業利益」として開示しております。

計算式： 為替差損益調整後営業利益 = 営業利益 + 営業取引から発生した為替差損益

注： 為替差損益の分類方法は以下の通りです。

営業取引から発生した為替差損益： 売掛金及び買掛金から生じる決済差額及び換算差額、並びに為替レート差に起因する連結相殺差額

財務取引から発生した為替差損益： 現預金、貸付金及び借入金から生じる決済差額及び換算差額

（単位：百万円）

	2025年3月期 第1四半期連結累計 期間	2026年3月期 第1四半期連結累計 期間	増減	増減率
売上高	15,175	16,956	+1,780	+11.7%
営業利益	△190	206	+397	—
為替差損益	1,557	524	△1,032	△66.3%
うち営業取引から発生したもの	1,112	879	△232	△20.9%
うち財務取引から発生したもの	445	△354	△799	—
為替差損益調整後営業利益	921	1,085	+164	+17.9%
経常利益	1,423	765	△658	△46.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	780	337	△443	△56.8%

なお、当社グループはこれまでアパレルOEM事業のみの単一セグメントであったことから、セグメント情報の開示を省略しておりましたが、当第1四半期会計期間より経営管理区分の見直しに伴い、報告セグメントを「縫製事業」および「ラミネーションフィルム事業」に区分して開示しております。

報告セグメントの事業内容は、次のとおりであります。

(縫製事業)

縫製事業では、メンズ・レディースのカジュアルウェア、インナーウェア、制服・作業服などのワーキングウェアに至るまで、幅広いアパレル製品のOEM生産を手がけております。長年にわたり培ってきた高い技術力と品質管理体制を強みに、国内外の有力ブランドからの受注に対応し、企画・製造・物流まで一貫したサービスを提供しております。現在、海外5ヶ国（中国・ベトナム・バングラデシュ・ミャンマー・インドネシア）に自社工場を展開しており、お客様の多様なニーズに柔軟かつ安定的に応えられる生産体制の構築に努めております。

(ラミネーションフィルム事業)

ラミネーションフィルム事業では、主にアパレル用品向けの機能性素材の加工を行っており、透湿・防水・耐久性などの機能を備えたフィルムの開発及び製造を通じて、製品の機能性向上に取り組んでいます。スポーツウェアやアウトドア製品、ユニフォームなど、特定の用途に応じた素材加工を行っており、中国およびベトナムの自社工場において安定した生産体制を構築し、事業を展開しております。

報告セグメントの経営成績は、次のとおりであります。セグメント利益は四半期連結計算書の経常利益と調整を行っております。なお、前期数値については、変更後の報告セグメントの区分に基づいております。

(縫製事業)

当第1四半期連結累計期間においては、インナーウェアや猛暑の影響によるファン付きウェアの需要増加を背景としたワーキングウェアの受注が増加しており、従来より進めていたバングラデシュ工場の生産キャパシティ拡大が奏功しました。販売枚数は前年同期比21.4%増の1,266万枚となり、堅調な受注を背景に順調に事業拡大が進みました。

一方で、為替変動の影響により、現預金や貸付金、借入金の換算替えから為替差損が発生したことにより、利益面では前年同期比で減益となりました。

以上の結果、縫製事業の売上高は142億66百万円（前年同期比14.1%増）、セグメント利益は8億69百万円（同23.4%減）となりました。

また、当社の独自指標である為替差損益調整後営業利益は、縫製事業において10億24百万円（同33.3%増）となりました。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期連結累計 期間	2026年3月期 第1四半期連結累計 期間	増減	増減率
売上高	12,508	14,266	+1,758	+14.1%
セグメント利益	1,134	869	△265	△23.4%
為替差損益調整後営業利益	768	1,024	+256	+33.3%

(ラミネーションフィルム事業)

当第1四半期連結累計期間においては、透湿防水機能を備えた高機能素材の需要が継続する中、販売ヤード数は前年同期比3.3%増の435万ヤードとなりました。

一方で、米国の関税政策を背景とした中国市況の悪化の影響により中国国内におけるコスト競争が激しくなったことに加え、前期は顧客のヒット商品による需要の増加がありましたが、今期はその反動から需要状況は一服し、通常の水準へと移行しつつあります。

以上の結果、ラミネーションフィルム事業の売上高は26億89百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益は3億49百万円（同12.7%減）となりました。

また、当社の独自指標である為替差損益調整後営業利益は、ラミネーションフィルム事業において3億49百万円（同12.6%減）となりました。

（単位：百万円）

	2025年3月期 第1四半期連結累計 期間	2026年3月期 第1四半期連結累計 期間	増減	増減率
売上高	2,666	2,689	+22	+0.8%
セグメント利益	400	349	△51	△12.7%
為替差損益調整後営業利益	400	349	△50	△12.6%

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて27億67百万円減少し、696億86百万円となりました。主な要因としては、電子記録債権の増加5億71百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少15億77百万円、有形固定資産の減少14億35百万円等があったことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて3億21百万円減少し、316億2百万円となりました。主な要因としては、短期借入金の増加9億92百万円等があったものの、賞与引当金の減少5億47百万円、支払手形及び買掛金の減少4億16百万円、長期借入金の減少2億19百万円、未払法人税等の減少1億44百万円等があったことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて24億46百万円減少し、380億83百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益が3億37百万円、非支配株主持分の増加2億7百万円等があったものの、為替換算調整勘定の減少19億32百万円、配当金の支払9億39百万円等があったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,151	19,925
受取手形及び売掛金	9,896	8,319
電子記録債権	1,503	2,075
商品及び製品	4,458	3,996
仕掛品	6,062	6,880
原材料及び貯蔵品	3,669	3,398
その他	1,982	1,928
貸倒引当金	△9	△7
流動資産合計	47,715	46,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,840	12,921
その他（純額）	7,021	6,503
有形固定資産合計	20,861	19,425
無形固定資産		
その他	2,708	2,535
無形固定資産合計	2,708	2,535
投資その他の資産		
その他	2,190	2,208
貸倒引当金	△1,022	△1,000
投資その他の資産合計	1,168	1,207
固定資産合計	24,738	23,168
資産合計	72,453	69,686

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,746	8,330
電子記録債務	917	934
短期借入金	8,465	9,457
1年内返済予定の長期借入金	1,010	1,010
未払法人税等	539	395
賞与引当金	813	265
その他	2,171	2,220
流動負債合計	22,664	22,614
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	750	750
長期借入金	5,518	5,299
退職給付に係る負債	547	557
資産除去債務	1,269	1,271
繰延税金負債	533	497
その他	640	612
固定負債合計	9,259	8,987
負債合計	31,924	31,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	603	603
資本剰余金	2,277	2,146
利益剰余金	26,615	26,013
自己株式	△246	△246
株主資本合計	29,249	28,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	44
繰延ヘッジ損益	18	14
為替換算調整勘定	8,409	6,476
退職給付に係る調整累計額	△158	△148
その他の包括利益累計額合計	8,307	6,386
非支配株主持分	2,973	3,180
純資産合計	40,529	38,083
負債純資産合計	72,453	69,686

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	15,175	16,956
売上原価	13,887	15,204
売上総利益	1,287	1,751
販売費及び一般管理費	1,478	1,545
営業利益又は営業損失(△)	△190	206
営業外収益		
受取利息及び配当金	47	34
為替差益	1,557	524
補助金収入	56	60
その他	61	49
営業外収益合計	1,723	669
営業外費用		
支払利息	70	77
債権売却損	18	18
持分法による投資損失	7	0
その他	13	14
営業外費用合計	108	111
経常利益	1,423	765
税金等調整前四半期純利益	1,423	765
法人税等	612	449
四半期純利益	811	315
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	30	△21
親会社株主に帰属する四半期純利益	780	337

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	811	315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	7
繰延ヘッジ損益	9	△4
為替換算調整勘定	1,089	△2,090
退職給付に係る調整額	△16	13
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	1,093	△2,074
四半期包括利益	1,904	△1,759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,690	△1,583
非支配株主に係る四半期包括利益	213	△175

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループはこれまでアパレルOEM事業のみの単一セグメントであったことから、セグメント情報の開示を省略していましたが、当第1四半期会計期間より経営管理区分の見直しに伴い、報告セグメントを「縫製事業」および「ラミネーションフィルム事業」に区分して開示しております。

なお、前期のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	縫製事業	ラミネーション フィルム 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,508	2,666	15,175	—	15,175
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,508	2,666	15,175	—	15,175
セグメント利益又は損失(△)	1,134	400	1,535	△111	1,423

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△111百万円は、各報告セグメントに配分していない当社管理部門の販売費及び一般管理費△247百万円、為替差益161百万円及びその他の営業外損益△25百万円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	縫製事業	ラミネーション フィルム 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,266	2,689	16,956	—	16,956
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,266	2,689	16,956	—	16,956
セグメント利益又は損失(△)	869	349	1,218	△453	765

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△453百万円は、各報告セグメントに配分していない当社管理部門の販売費及び一般管理費△288百万円、為替差損△131百万円及びその他の営業外損益△33百万円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	506百万円	478百万円
のれんの償却額	1 "	1 "